

議会報告会報告書

平成24年5月2日

山陽小野田市議会議長

尾山 信義 様

C 班

代表 衛藤弘光

平成24年3月定例会議会報告会の実施状況について、下記のとおり報告致します。

記

1 開催日時

平成24年4月23日（月）

2 開催場所

埴生公民館

3 参加人数（市民）

4人

4 担当班議員名

（衛藤弘光）（矢田松夫）（石田清廉）（河崎平男）（硯谷篤史）（吉永美子）
（三浦英統）

5 報告会次第

（1）市議会議長挨拶

（2）3月議会の報告会

① 総務文教常任委員会

② 民生福祉常任委員会

③ 産業建設常任委員会

④ 一般会計予算審査特別委員会

（3）質疑応答

6 主な質問・意見・提言

① 埴生小・中学校の一体校の問題で、埴生小学校のPTAから白紙にするよう請願書が出たが、その真意を聞きたい。

「回答」 これまでに埴生小学校校区内での説明会は数回あったが、それまでに情報はほとんどなかった。その後PTAが一体校について保護者にアンケート調査を行ったところ、一体校に反対70%、賛成30%という結果であったので、白紙撤回の請願書が提出されたものである。

- ② 埴生地区で一体校についての説明会では、埴生地区の総意として賛成が多かった。PTAの方も出席をしており、通学路の問題等の意見は出ていたが、この問題等は学校に一任をするというように認識していた。反対であれば説明会の際にPTAの方も積極的に意見を云うべきであったと思う。この問題は埴生地区の将来の問題として全体で考えるべきである。

「回答」 総務委員会は意見を聞いたのみで、議案は上程されておらず審議はしていない。PTAも一体校の問題について総会を開催し、その結果により請願書の提出をしたところである。今後この問題については委員会で慎重に調査研究をしていきたい。

- ③ 意見として、埴生小学校も100年の歴史があり地区住民も特別な思いがあるので、じっくり意見を聞くことが大事である。

- ④ 公衛社の株を行政が100%保有するという事は、許認可権をもっている行政としてどのように考えているか、議員間でどういう議論があったのかお聞きしたい。

「回答」 昔は市の指導が行き届いていない時期もあり、昭和47年に市が公衛社の株を買い取り主導権をえた経過がある。今回市は経営をしないよう決定したものである。

- ⑤ 公衛社の問題は自治法違反に当たるのではないかとということで、市長に特別委員会を設置し検討するよう進言したところである。市長としては任期中に解決すると云われた。今回の株を売却したが誰が購入するのか。

「回答」 小野田公衛社に株を売却したものである。

- ⑥ 会社で自社株をもつことが出来ないと思うがどうか。又株の評価はどのようにしたのか。

「回答」 平成18年に会社法の改正があり自社株を持つことが出来るようになったので支障はない。株の評価鑑定は全国組織の鑑定機関で鑑定をして頂いたものである。

- ⑦ 新聞報道で見たが、議員定数問題について月1回で1年以内に結論を出す」と記述されていた。こんな大事な問題を1年と言わず早急に結論をだす

べきだ。議員定数問題の審議は公開すべきだ。

「回答」おおむね1年で結論を見たいと思っている。定数問題は議員の問題であり特別委員会を設ければ費用もかかる。協議会は費用もかからず月1回程度の目安ということで、必要があれば何回でもする。先日第1回目を開催したばかりであり、座長の選任やホームページや議会広報等の掲載についての協議したところである。

- ⑧ 1年は長すぎるのではないか。月に何度も会議は出来るとおもうが出来ないか。3月まで結論を出さないと間に合わないがどうか。

「回答」本日もこのような報告会に来ているように議員は色々業務がある。協議会で一定の結論が出た段階で特別委員会を立ち上げたいと思っている。

- ⑨ 水処理センターは管理委託を入札により決定するということです。下関市は地元業者の請負割合の公表をしているが、山陽小野田市の地元契約は何%位であるか。

「回答」市内業者の割合は約100%だと認識している。

- ⑩ 介護保険料が高いようであるがどうか。

「回答」決して高い方ではない。山陽小野田市は県下の市で6番目である。